

市道赤荻黒沢線「新大久保橋」が完成！（一関市）

県南広域振興局土木部 一関土木センター

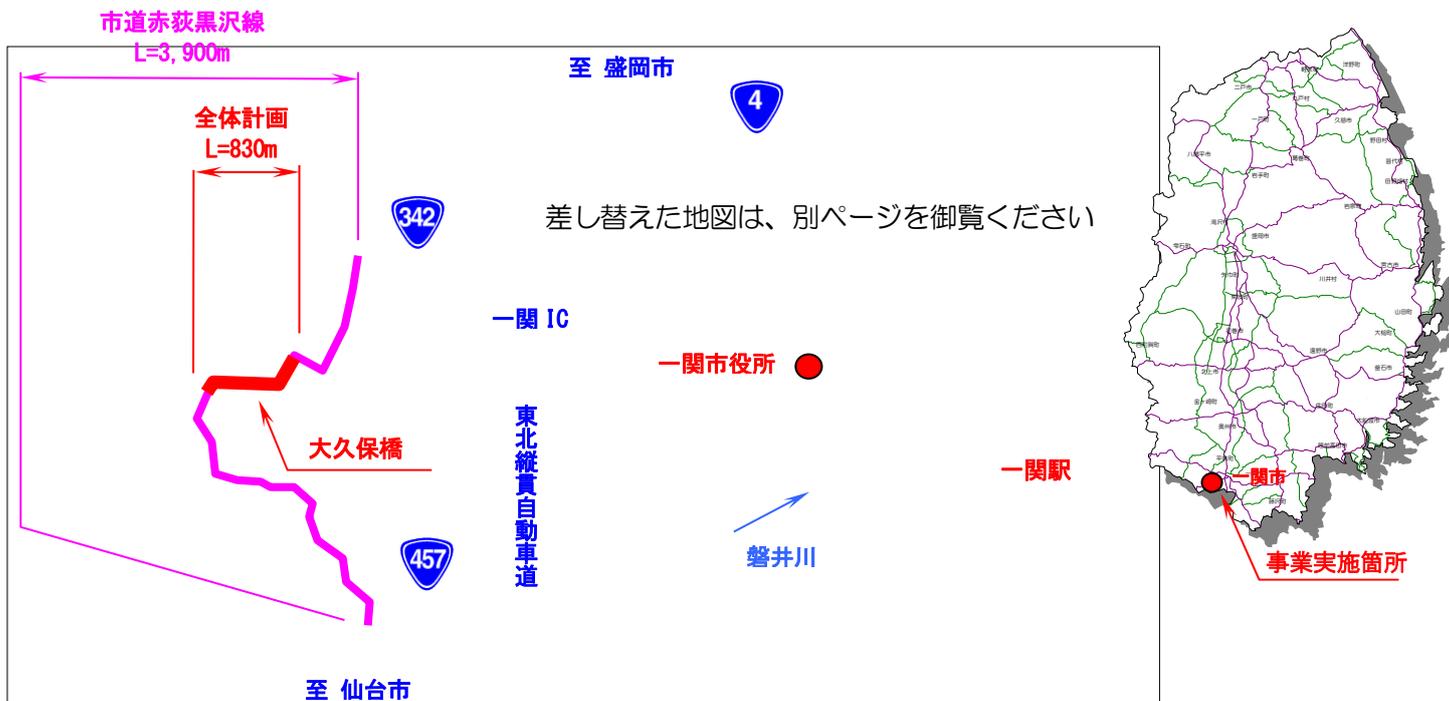
一関市が平成15年度から整備を進めてきた市道赤荻黒沢線「新大久保橋」が完成し、平成22年6月6日（日）に開通式が行われました。

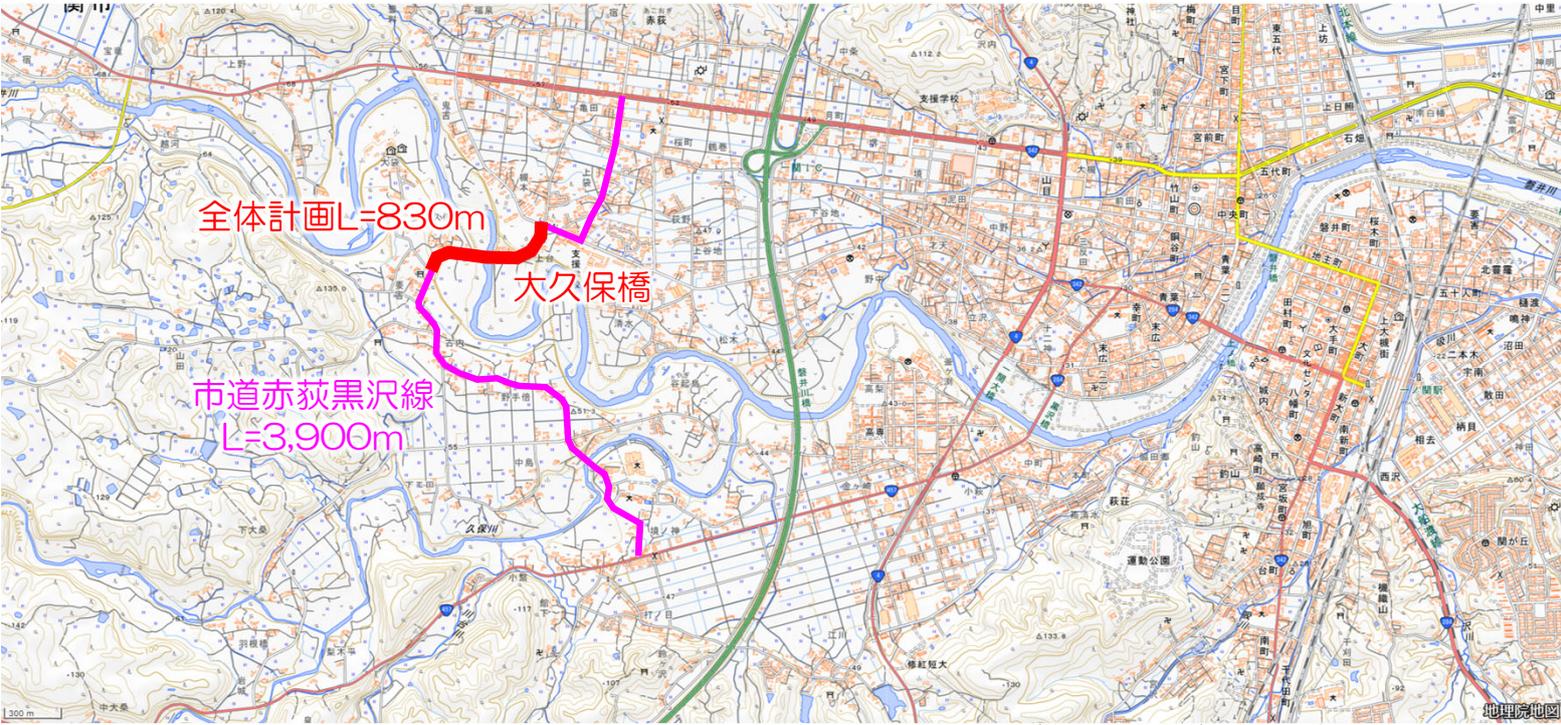
市道赤荻黒沢線は、国道342号と国道457号を結ぶ東北縦貫自動車道一関ICへのアクセス道路であり、沿線の幼稚園、小学校、中学校などの通学路としても利用されているほか、農村女性の家や学習交流館などの公共施設や、萩荘、赤荻地区を結ぶ生活道路でもあります。

昭和42年に架設された大久保橋は、幅員が4.5mと狭小で車両のすれ違いが困難だったほか、歩道がないため、歩行者や自転車の通行の支障となっていました。

今回の事業により、車道用の新橋を大久保橋の下流側に新設し、これまでの大久保橋を歩道用として利用するための改修工事を併せて行うことで、車両と歩行者、自転車の交通が分離され、安心して安全な通行が確保されました。

新大久保橋が、歩道専用となった大久保橋と共に末永く親しまれ、地域の発展に大きな役割を果たすことが期待されています。





(令和6年作成) 当時の地図とは異なります